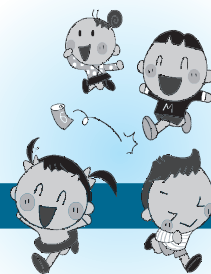


# こころをつなぐまちづくり

人権シリーズ vol.69



この作品は、人権のまちづくり国見部会の人権作文に応募された作品です。

## みんなの安心「黄色い旗」

竹田津小学校

六年 井上 漱春

ぼくの住む町「竹田津の鬼籠<sup>きこ</sup>」には、毎朝家に黄色い旗がかかげられます。

何だと思いませんか。この旗は、元気の印です。

今、鬼籠地区は子どもの数がすくなくなってきた。ひとり暮らしのお年寄りが増えてきました。だから、お年寄りがもしたおれた時、救急車を呼ぶ人がいなくて、そのまま亡くなってしまうことがあるかもしれません。



元気の印を掲げている集落の様子



そのようなことがないように、鬼籠地区は黄色い旗運動を始めました。

黄色い旗運動は、早朝に黄色い旗を家の見えやすい所に置き、自分の元気を周りの人に伝えます。夕方に旗を家にとりこみます。昼間に旗が出てなかったり、夕方に旗が出たままだったりした時、近所の人が「今日どうかしたんかえ。旗が立っちゃらんで。」と、家の中に入って声をかけます。ぼくたち小学生も、登校中に旗が立ってなかった時、おうちの人や地域の人に知らせるようにしています。

このような運動をしていたら、A Cの広告の人が黄色い旗について撮影をしたいと鬼籠にやってきました。それに、「とくダネ」にもとりあげられて、九州や全国に黄色い旗の事が知れわたりました。ぼくは、

## お知らせ

☆同和問題学習会（隣保館）

2月29日（水）午後2時～

問い合わせ

国東市隣保館

☎0978-68-1722

それまで区長さんに言われて何となくしていましたが、CM撮影やいろいろな方から話を聞く中で、黄色い旗運動はとても大切な運動だなと思うようになりました。黄色い旗は、ひとり暮らしの方が安心するし、近所の人が声をかけ合うことで、近所の人と仲良くなれるから、ひとり暮らしの人にも楽しく毎日を送れるんじゃないかと思いました。それに、僕たちがおうちの人に、「〇〇さんちの家、旗立ってなかったよ。」と言ったことで、ひとり暮らしの人の命が助かることがあるかもしれないから、登校の時しっかり見ていきたいと思っています。

※A C 公益社団法人 A C ジャパン

（旧公共広告機構）

## 第5回国東市隣保館まつり「いのちの川柳」応募作品

☆お疲れさんそのひと言で安らぎが

☆ねえみんな心の声が届いてる

国東町 平 永 イツヨ

武蔵町 相部 花子